

- 問1 中国の鉄鉱石に関する統計では、中国は世界最大の産出国の一つである一方で、世界の鉄鉱石輸入量の約6割を占める世界最大の輸入国でもあります。このような状況が生じている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2016年 山形県公立入試 類似）
- 国内で産出される鉄鉱石はすべて国外へ輸出され、国内で必要な資源を輸入でまかなっているため
 - 国内の鉄鉱石需要は減少傾向にあるが、資源価格を安定させるために国家が輸入を続けているため
 - 国内の鉄鉱石産出量よりも、急速な工業化に伴う国内の需要量の方が大幅に多いため
 - 国内の鉄鉱石産出量が極めて少なく、自国の需要のほぼすべてを輸入に頼らざるを得ないため
- 問2 北京の気候統計を見ると、年間の降水量が約717mmであるのに対し、その大部分が夏季に集中し、冬季は極めて乾燥して気温が低くなるという特徴があります。このような季節による降水量や気温の大きな変化を生じさせる要因として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 鳥取県公立入試 類似）
- 北極からの寒流が夏に勢力を強め、大陸沿岸部の気温を急激に下げることによって上昇気流が発生しやすくなるため。
 - 季節によって吹く方向が変わる風が、夏には海から湿った空気を、冬には大陸から冷たく乾いた空気を運ぶため。
 - 赤道付近で発生した低気圧が、年間を通じて湿った暖かな空気を大陸の内部へ一定の周期で運び続けるため。
 - 一年中西から吹く強い風が、巨大な山脈にぶつかることによって、山の東側に位置する都市に安定した雨を降らせるため。
- 問3 東京を中心とした正距方位図法による世界地図において、東京から見て南西方向に位置するインドという国について、その宗教的特色を説明したものとして適切なものはどれか。なお、この国には大勢の人々が河川に入り、身を清めながら祈りを捧げる光景が見られる。（2023年 島根県公立入試 類似）
- 古くから仏教が盛んであったが、現在は欧米文化の影響を強く受け、キリスト教徒が人口の過半数を占める。
 - 西アジアから伝播したイスラム教が国教となっており、一日に五回の礼拝が義務付けられている。
 - 人口の約8割がヒンドゥー教を信仰しており、牛を神聖な動物として大切にす文化がある。
 - 東南アジアに位置する多民族国家であり、メコン川流域で稲作を営みながら主に仏教を信仰している。
- 問4 1970年代末から中国が進めた「改革・開放」政策において、外国の資本や高度な技術を導入することを目的に、税制上の優遇措置などを設けて指定された沿海部の地域を何と呼びますか。（2022年 大阪府公立入試 類似）
- 経済回廊
 - 自治区
 - 経済特区
 - 特別行政区
- 問5 1976年に南北統一を果たした後のベトナムが採択した、経済政策の背景と内容について述べた文として、最も適切なものはどれか。（2018年 神奈川県公立入試 類似）
- 資本主義体制を全面的に導入し、自由競争による市場経済の拡大を優先した。
 - 工業化を否定し、国民全員が農村へ移住して自給自足の生活を送ることを目標とした。
 - 外国との国交をすべて断絶し、自国の資源のみを用いた鎖国的な開発を進めた。
 - 社会主義体制を維持したまま、国家の計画に基づき工業の発展を目指した。
- 問6 トルコの貿易に関する説明として、輸出統計資料の状況に基づいた記述として正しいものはどれですか。（2020年 愛知県公立入試 類似）
- 歴史的に関係の深いイギリスが最大の輸出相手国であり、ドイツとの貿易額は極めて少ない。
 - 地中海対岸のイタリアが最大の輸出相手国であり、アジア諸国への輸出は行われていない。
 - 地理的に隣接するイラクが最大の貿易相手国であり、輸出額の過半数を占めている。
 - 最大の輸出相手国はドイツであり、地理的に近いヨーロッパ諸国との経済的な結びつきが強い。
- 問7 インドで最も多くの人々に信仰されているヒンドゥー教に関連して、その文化的な特徴や生活習慣について述べた文として、正しいものはどれですか。（2020年 岡山県公立入試 類似）
- 偶像崇拜が厳しく禁止されており、寺院には神像が置かれない。
 - カースト制度による差別に反対して、インドから東南アジアへと広まった。
 - 牛を神聖な動物として尊ぶため、牛肉を食べない習慣がある。
 - ラマダン（断食月）には、日中の飲食を断つ修行を行う。
- 問8 ヒンドゥー教の遺跡群であるミーソン聖域などの世界遺産を有し、1953年にフランスから独立した歴史を持つ東南アジアの国について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 東京都公立入試 類似）
- 1995年にASEANに加盟し、近年は工業化が進んだことで、日本に対する貿易収支が黒字に転じた。
 - フランスから独立した後は一度も南北に分かれることなく、一貫して民主主義体制を維持した。
 - 1960年代のASEAN結成当初からの加盟国であり、日本への最大の輸出品は米である。
 - アンコール・ワットに代表される大規模な仏教遺跡が、観光における最大の中心となっている。
- 問9 主要穀物の生産と貿易の動向について、小麦と米の各統計データを踏まえた説明として、正しい記述はどれですか。（2020年 千葉県公立入試 類似）
- 小麦は生産量が多い国ほど国内消費も必ず多いため、統計上、小麦の生産上位5か国が輸出上位5か国に入ることとは絶対ない。
 - 小麦の生産上位国にはロシアやカナダが含まれ、これらの国は広大な国土を活かした大規模農業により、世界市場への主要な輸出国の役割を担っている。
 - 米の生産上位5か国である中国、インド、インドネシア、バングラデシュ、ベトナムは、いずれも人口密度が低いため、生産量のほとんどを輸出に回している。
 - 米の輸出統計を見ると、タイやベトナムといったアジアの国々は含まれておらず、アメリカやカナダといった北米の国々が輸出の大半を占めている。
- 問10 中国の人口構成と民族に関する記述として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。（2020年 熊本県公立入試 類似）
- 清を建国した満州族が、現在の中国において最も人口が多い民族である。
 - 漢族は主に内陸部の山岳地帯に居住する、人口の少ない民族である。
 - 中国は単一民族国家であり、漢族以外の民族は居住していない。
 - 人口の約9割を占める漢族のほか、55の少数民族が暮らしている。
- 問11 ベトナムやインドネシアといった国々とシンガポールを比較した統計において、日本企業の進出数と現地の経済状況の関係性を説明したものとして、正しいものはどれですか。（2024年 群馬県公立入試 類似）
- 日本企業の進出数は、現地の平均賃金の高さに関わらず天然資源の産出量のみで決定される
 - シンガポールのように平均賃金が高い国では、低賃金の国に比べて工場などの進出数が急増している
 - 平均賃金が高い国ほど、安価な労働力を求める日本の製造業の進出が活発になる傾向がある
 - 平均賃金が高い国ほど、生産コストの削減を目的とする日本の製造業が進出しやすい傾向がある
- 問12 鉄鉱石や石炭の産地と製鉄所の分布を示した統計資料において、中国の内陸部に多くの製鉄所が配置されている特徴を説明した記述として正しいものはどれですか。（2022年 大阪府公立入試 類似）
- 石炭の産地から離れた、消費電力の少ない高原地域に製鉄所が集中している
 - 国内で産出される石炭や鉄鉱石の産地と重なるように製鉄所が立地している
 - 内陸部の農業地帯に肥料を供給するため、農地に近い場所に製鉄所が分散している
 - 海外から輸入される原料を加工するため、河川の河口付近にのみ製鉄所が集中している